友愛會本部を神戸に移す

鈴木文治氏勞働歌に迎へられて

昨夜の演説

8日、勞働者諸君の爲め悉く戰ふ

去る八月二十五日三菱内燃機の職工解雇問題に關し交渉力敵乏しく手足共に縛がれた形になつて居た其際さえ嘆んざして居る、此の職工團に一滴の血を與へんとして來たのは友愛會長鈴木文治氏であつた、氏は既報の通り三十一日午前七時二十分三の宮驛着の列車で若干の友愛會員諸君と共に神戸へ發し同月二十八日午後一時半作業職工亦同會員諸君の歡迎會を開き、漸次市内の各團體へ檄及した當市の勞働爭議に就き熱辯を揮つて火の手を盛んに擧げ一部、合して二百餘名が團隊旗を飜り職工側首の大鉞を振つて脅迫し立て勞働歌の高唱に迎えられヘルメット帽黑のアルパカの上着に白ズボンと云ふ服裝で車を出た鈴木氏は自動車上に立つて口を開く『今回起つた神戸の勞働爭議は單に神戸だけの勞働爭議では無く資本家との爭議である、此の爭議の成行如何に關つては我友愛會の本部を當市に移さねばならぬと思つてゐる、所が今其時機が來た、自分は此の爭議が起つた當初當市には有力な指揮者があるから萬一にも不可である、然し聞く處に據ると勞働者と衝突する如きは絶對にねばならぬ、殊に諸君は警官と衝突する事ル避け事適當な結末が着けられる者と思つて接えてゐた、然るに數日來の形勢に據ると警官の壓迫で幹部の總ては拉致され此の爭議を解決すべく指揮をする者が無くなつた、之では解決の着く時機が無い、自分は此の解決をつけるべく來たのである、即ち勞働爭議を早く纏めるべく友愛會の本部を當市に移したのである、自分は勞働者諸君の爲め全く盡ふ、然し諸君は警官と衝突する事ル避けねばならぬ、殊に諸君は絶對に不可である、然し聞く處に據ると勞働者と衝突する如きは絶對に成者が劍を抜いて斬りに來るさうだが、若しそんな事があれば自分は最後の決心と手段がある、兎に角勞働者側の相談する場所も無いと云ふ事だから知事に面會し諒解を求める考えである、幹部の方は保釋になつて得つて貰ひ他は明朝に一先づ引取つて貰ひたい」と述べ「萬歳」の聲々を浴びながら知事官舍に向つた

解決を着ける爲に來た

警官も亦勞働者である

大呼し万歳聲裡に縣廳へ

其警官が劍を抜いて斬るならば自分に最後の決心と手段がある

日本全

國の勞働者と

指揮者

上官の

命で動いて居

自分は

諒解を

屋外集

自分は

資本家

默つて

資本家が猫婆した金を

吐出せば爭議は起らぬと

第二互助倶樂部に落付き鈴木氏曰く

同窓の友坂本警察部長や知事を訪問した後

知事官舍を訪ふた鈴木會長は有吉知事と頭會談十分で午前八時二十分官舍を辭し直に

坂本警

察部長を官舍に訪ふた、坂本部長さは同窓の友と云ふので打解けた會談をして同九時二十分別れた、そして柳原の第二互助倶樂部へ一先づ落着いた氏は記者に

『爭議團の幹部が悉く警察へ引かれ殘餘の者は集會協議する場所も無いと云ふのだから先づ此の集會所を作る爲め其處に認めて貰ひたいと思つて知事を訪ひました

所が知事は、その處なれば自分一人で應諾する譯には行かない、沿つて相談をした上で何とか返事をするこ云ふ事でありました、それで

自分は

更に警察部長に諒解、求める爲坂本氏を訪ふたのですが坂本氏さは學校友達でありますから四角張つた話をせず、我々が相談し合ふ場所を認めて呉れこ云ひました、坂本部長は

屋外集

會は絶體に不可ないが屋内の集會なら構はぬこの事で、正式の回答は知事こも相談の上返つて通知するこの事でした

何分幹部が全部捕まつて居るのだから今日幹部を選み部署を定め貴任を持たせる事も定め難から其等の行動に移らうと思ます」と語り更に「知事は日本の製産品の高いのは勞働の高い爲であるから今の處勞銀の値上などは日本の產業上不可であるこ云ふ製產品の高いのを勞働者の所爲のやうに云はれたが自分はそれは同感した見方だと思つて居る、それで議論はしないけれども、それでは外國の何處が一等勞銀が安いかと訊れ、日本の商業政策に缺點のある事も認めたいと思つたけれご其所までは行きませんでした、依て知事なども有のやうに資本家を保護し勞働者を壓やうざされるから惡感爭議も起る、勞働者は今食ふに食へないから賃銀を増して呉れと云ふ夫を資本家が聽かない

資本家は戰時に四割五割多いのは八割十割もの配當をしたではありませんか、北澤山な配當を貪り得たのは資本家が先見の明があつたのでは無く、世界の偶然の出來事から大戰こ云ふ偶然の機會を得たので怡も一半で夕を拾つたのも同然である、資本家は偶然拾つた金を

資本家

の自力で利益

虫が好

過ぎる、日本の製產部の高いのは職工勞銀の高いのだなんて云つて食ふや食はずの職工の留を安くし製產部を安くしやうこするのは、やはり拾つた金を返さず、返す金は勞働者に出させやうこするのこ同じで、それでは

勞働者

が堪らない、資本家が大戰當時偶然拾つた金を吐き出すつもりで此の際團中から出せば此の爭議は決して起きないのである、拾つていつ迄も威張を極めやうこする資本家に反省を求めるは我々は働いて居るのです」こ語つた

して居る、ソシテ今此の不景氣が來て、拾つた金は落こし主へ返さねばならぬ時が來たのに拾つた金は其まゝ自己の懐ろに藏つて置き返す金は他の方から生み出さうこするのは

虫が好

過ぎる、日本の製產部の高いのは職工勞銀の高いのだなんて云つて食ふや食はずの職工の留を安くし製產部を安くしやうこするのは、やはり拾つた金を返さず、返す金は勞働者に出させやうこするのこ同じで、それでは

勞働者

が堪らない、資本家が大戰當時偶然拾つた金を吐き出すつもりで此の際團中から出せば此の爭議は決して起きないのである、拾つていつ迄も威張を極めやうこする資本家に反省を求めるは我々は働いて居るのです」こ語つた